

平成 22 年度

県の施策・予算に関する要望

(道路・河川・林道整備箇所表)

神奈川県町村会

道 路 整 備 箇 所 表

整 備 箇 所 等	要 望 要 旨	町 村 名
1 県道207号(森戸海岸線)	この路線の一部区間については拡幅等の整備に着手されていますが、路線全線において歩行者と通行車両双方が安全かつ安心して通行できるよう歩道確保を含め、更なる道路整備を要望します。	葉 山 町
2 県道311号(鎌倉・葉山線)	この路線については、現在、歩道整備等事業を実施されていますが、22年度以降についても引き続きバリアフリー化を促進し、路線全域の歩道整備やバスバイ設置、交差点部(長柄交差点及び町道との接続・交差部)の通行の円滑化に向け引き続き事業を実施されるよう要望します。	葉 山 町
3 県道217号(三浦半島中央道 I 期区間)	平成16年3月のトンネル第一期工事完成後利便性は向上しましたが、引き続きトンネル第二期工事(南郷交差点～逗子)について、早期整備を要望します。	葉 山 町
4 藤沢大磯線の整備促進	藤沢大磯線は、さがみ縦貫道路との二重構造として計画されていますが、現在、さがみ縦貫道路の下部工事を進めている状況の中で、いまだ未整備の状況です。このため、地域生活道路に通過車両が入り、良好な生活環境が脅かされているので、早期に整備されるよう強く要望します。	寒 川 町
5 中海岸寒川線の整備促進	中海岸寒川線は、寒川町の東西軸を形成する重要な道路です。県道丸子中山茅ヶ崎線までは順調に工事が進み、幹線道路へアクセスされましたが、地域の交通渋滞は日毎に増しています。そのため、NTT以東を早期に整備されるよう要望します。	寒 川 町
6 藤沢大磯線(湘南新道)の整備促進	藤沢大磯線(湘南新道)の整備は、国道1号及び国道134号等の交通需要の増大に伴う渋滞解消と県内のネットワークの強化を目指し、県において事業が進められており、本路線は、道路交通の円滑化の確保や物流機能の強化等、住民生活の利便性の向上を図るとともに、広域幹線道路への接続等、幹線道路ネットワークの構築を図る上で、必要不可欠な道路となるため、早期の整備促進を引き続き要望します。	大 磯 町
7 県道63号(相模原大磯線)の整備	本路線については、国道1号と相模原方面を結び大磯町西部地区の南北方面の骨格となる路線であるとともに、国道271号(小田原厚木道路)と連結しており、朝夕の時間帯をはじめ交通量が多い路線であるにも拘わらず、歩道に安全施設の整備がされていない箇所や歩道未整備区間もあるため、歩道及び交通安全施設の早期整備を図るよう引き続き強く要望します。	大 磯 町

整備箇所等	要望要旨	町村名
8 県道71号(秦野二宮線)	県道71号(秦野二宮線)は、秦野市から二宮町までの南北わずか10km程の区間に、西湘バイパス、国道1号、国道271号(小田原厚木道路)、東名高速道路、国道246号の国道5本と結束しています。また、計画路線として第二東名高速道路や246号バイパスが予定されています。このように県道71号は、短い区間の中で東西に走る国道5本をかかえ、南北に結ぶ極めて重要で広域的な幹線道路です。しかし、近年の交通量の増大等に伴い次の交差点において慢性的な交通渋滞が発生していますので、渋滞緩和を図り地域の環境問題を改善するとともに、湘南地域の将来のために道路機能の充実を図るよう要望します。	二宮町
9 県道77号(平塚松田線)	平塚松田線の比奈窪バイパスは、用地取得上の問題解決に向け、中井町としても県当局とも連絡調整を密にしながら、地権者との交渉が早く解決できるよう努力していますので、早期完成を要望します。また、井ノ口交差点から平塚市行政境までの間の歩道整備等について早期整備を要望します。	中井町
10 主要地方道72号(松田～国府津線)(籠場橋～大井町境)の歩道設置	道路交通の安全性確保のため、籠場橋から大井町境までの間に歩道の設置を要望します。	松田町
11 県道710号(神縄～神山線)の拡幅改良及び歩道設置	道路交通の安全性確保のため、立山橋付近の道路改良の早期実現を要望します。また、寄小中学校周辺を始め歩道未整備箇所の早期整備も要望します。	松田町
12 主要地方道74号(小田原山北線)宮地交差点から大口橋までの間	県道の改良により一部進捗も見られるが、交通量の増加により各所で交通渋滞を引き起こしているため、引き続きの道路改良を要望します。	山北町
13 主要地方道74号(小田原山北線)宮地交差点	改良工事により国道からの左折は改善されたが、依然として渋滞の一因となっていることから抜本的な改善を要望します。	山北町
14 主要地方道76号(山北藤野線)小塚から湯ノ上間での間	観光客や老人施設の入所者、地域住民のため歩道の設置、及び未改良部分の整備を要望します。	山北町
15 主要地方道76号(山北藤野線)神縄から湯本平までの間	坂道とカーブの続くこの区間の歩道の設置を要望します。	山北町
16 主要地方道76号(山北藤野線)玄倉寺から嶽山橋までの間	見通しが悪くカーブの多い危険箇所について早期整備を要望します。	山北町

整備箇所等	要望要旨	町村名
17 県道721号(東山北停車場線)大口橋から東山北駅まで	車両の大型化と交通量の増加により交通に支障をきたしており、また、ここで新たな企業の進出が決まり、さらに大型車の交通量の増大が予想されます。歩行者の安全確保のためにも早急な幅員改良を要望します。	山北町
18 県道怒田開成小田原線	関係自治会からも歩道の設置、早期改良の強い要望があげられている未施工区間(金井島地区約200m、延沢地区約450m)について、現在実施中の改良事業の延伸を要望します。	開成町
19 都市計画道路山北開成小田原線	本路線は、平成22年4月開校の開成南小学校の重要な通学路として位置付けられているため牛島交差点から開成町南部地区土地区画整理事業区域までの間(約700m)について、早期整備を要望します。	開成町
20 国道1号湯本地内の改良	箱根湯本駅前の拡幅は一部終了していますが、この先、旭橋までの拡幅改良を要望します。	箱根町
21 国道1号宮ノ下交差点の改良	休日の交通渋滞の原因ともなっています、宮ノ下交差点の改良を要望します。	箱根町
22 国道1号上り線の交通渋滞緩和対策	交通情報板の設置は渋滞箇所に行く前に告知することで交通の分散化が図られ、渋滞緩和策の有効な手段であるため、木賀及び小涌谷等主要交差点前への新設を引き続き要望します。	箱根町
23 国道138号(宮城野橋～かながわ西湘農業協同組合箱根支店)の歩道等整備	歩行者の安全確保のため、歩道の整備及び宮城野橋下流側の歩道橋設置を要望します。	箱根町
24 国道138号・県道75号(湯河原箱根仙石原線)交差点改良及び歩道設置	用地取得上の問題解決に向け、箱根町としても最大努力をします、早期の事業着手を要望します。	箱根町
25 国道138号(乙女登山口～仙石原交差点)の歩道整備	この区間は、ハイカー等多数の歩行者が利用しており、安全確保の面からも山側について、早期に歩道整備を図られるよう要望します。	箱根町
26 県道75号(湯河原箱根仙石原線)・県道733号(仙石原強羅停車場線)仙郷楼バス停前交差点の改良	路線バスの増便や、一般車両の通行量も増しているため、箱根町も協力しますので、引き続き早期実現を要望します。	箱根町
27 県道75号(湯河原箱根仙石原線)の歩道整備[仙郷楼～温泉荘]	特に、仙石原ススキ草原付近の歩道については、既に一部区間が整備着手され、歩行者の安全が図られることになっていますが、引き続き、全線の整備について、早期実現が図られるよう要望します。	箱根町

整備箇所等	要望要旨	町村名
28 県道723号（関本小涌谷線）の改良	国道1号と国道138号を南北に結ぶ重要な幹線ですが、特に、強羅踏切下から強羅坂下までは狭小幅員箇所が多く歩行者に対しても大変危険であり、緊急度は非常に高いと考えますので、拡幅改良及び歩道整備を強く要望します。	箱根町
29 県道731号（矢倉沢仙石原線）〔国道138号～旧民宿あさひ荘〕の道路拡幅整備	箱根町の住環境整備を目的とした町道拡幅計画と併せて当該路線の拡幅を要望します。	箱根町
30 県道732号（湯本元箱根線）の拡幅整備	交通渋滞緩和と歩行者の安全確保のため、狭小幅員の拡幅改良等について引き続き要望します。	箱根町
31 県道738号（仙石原新田線）の静岡県側との連絡道としての整備	大規模災害発生時のライフライン確保と広域連携による観光振興を図るためにも、静岡県側との連絡道路整備を要望します。	箱根町
32 国道1号沿い（湯本～宮ノ下間）の観光客用トイレ設置	週末などは依然、この区間で交通渋滞が発生し、観光客がトイレの使用に苦慮しています。沿道に休憩施設（トイレ）の設置を引き続き要望します。	箱根町
33 仙石原緑道（仮称）の整備	用地提供者より、早期整備の要望も受けていることから、積極的な整備を強く要望します。	箱根町
34 県道733号（仙石原強羅停車場線）の整備	安全対策及び狭あい箇所等の整備を要望します。	箱根町
35 国道135号（真鶴有料道路旧道区間）の円滑な通行に向けた改善	昨年9月から真鶴道路が無料化されたことに伴い交通量が顕著に増えており、国道135号を車両が右折する際に道路標示が十分整備されていないため、交差点改良（右折車線の確保若しくは信号機の時間差措置）等により何らかの渋滞緩和措置を要望します。また、高齢者や障害者の安心を確保するため、横断歩道においては音のでる信号機の設置を求めるとともに、歩道と車道の段差解消等をはじめとしたバリアフリー化の充実を併せて求めるものです。なお、県道740号下り車線の福浦立体から小田原方面についても渋滞緩和措置を重ねて要望します。	真鶴町
36 県道740号の道路拡幅	道路幅員や歩道設置に係る道路未改良区間があります。この区間は、大型車輛の通行も頻繁であり、死亡事故も発生している事故多発区間です。また、近隣住民の要望もあり、交通事故防止及び歩行者の安全確保のために工事着手を要望します。	真鶴町
37 県道739号の道路整備促進	真鶴町を周回する重要な基幹道路である県道739号について、交通の円滑化及び未然の事故防止のため、幅員狭小区間の解消に係る道路整備の促進と琴ヶ浜バイパス道路の早期実現を要望します。	真鶴町

整備箇所等	要望要旨	町村名
38 県道75号(通称椿ライン) 景観整備事業	奥湯河原から大観山へ抜ける県道75号(通称椿ライン)の立木が大きくなり、以前はこの道路の車窓からの景観が一つの観光資源でありましたが、その枝葉により景色がさえぎられてしまっています。観光資源の復活のために景観整備を要望します。	湯河原町
39 県道54号(相模原愛川) (角田大橋交差点) 交差点改良	本路線については、平山大橋供用後の渋滞が激しくなっており、愛川町では、こうした渋滞の解消を図るため、町道下平海底上104号線を平成22年度末からの供用を目途に整備を進めていますが、当該町道の整備により、本路線の渋滞を解消するためには、本交差点の改良が不可欠です。ついては、交通の円滑化を図るため、当該交差点の改良を要望します。	愛川町
40 県道65号(厚木愛川津久井) (箕輪辻交差点・一本松交差点) 交差点付加車線化	本路線におけるボトルネック解消のため、交通量の多い県道54号との交差点である「箕輪」については、平成20年度から事業に着手されていますが、早期の完成を要望するとともに、町幹線道路との交差点である「一本松」についても、今後、さがみ縦貫道路の整備に伴い、なお一層の交通量の増加が見込まれますことから、早期に付加車線化事業に着手されるよう要望します。	愛川町
41 県道65号(厚木愛川津久井) (箕輪辻～桜台五差路) 歩道整備	本路線については、沿道の土地利用も進み、交通量も増加していますが、現歩道は、片側のみに設置してある状況であるため、歩行者の安全確保の観点から、歩道整備事業を推進されますよう要望します。	愛川町
42 県道54号(相模原愛川) (馬渡橋) 橋梁早期架替	本橋は、愛川町を2つに分断する位置にあり、かつ住民生活及び経済活動に欠くことのできない重要な橋梁です。しかしながら、現況は幅員が狭く、大型車両等のすれ違いに支障をきたしているとともに、老朽化も進んでいることから、早期事業着手及び早期完成を強く要望します。	愛川町
43 県道54号(相模原愛川) (梅沢坂) 道路改良事業再開	本路線は、愛川町にとって主要幹線道路であり、現在事業が休止している状態ですが、町民の要望も強いことから、早期に事業再開されるよう強く要望します。	愛川町
44 県道54号(相模原愛川) (平山坂下交差点～平山大橋) 交差点及び道路改良	本県道と国道412号の交差点である平山坂下交差点については、形状が鋭角であることから、大型車両の右折が困難な状況となっています。平成16年度から事業に着手されていますが、交差点改良の早期完成を要望します。また、交差点から平山大橋の区間については、幅員が狭く、歩道也未整備であることから、歩道整備を含めた道路改良の早期完成を要望します。	愛川町

整備箇所等	要望要旨	町村名
45 県道63号（相模原大磯） （坂本坂）歩道整備	本路線は、愛川町の主要幹線道路です。平成16年度より事業が再開され、平成21年度で旧坂本坂までの歩道が完成されますが、旧坂本坂から桜台交差点に至る区間については、歩道未整備箇所であることから、坂本坂完了後に事業の延伸として着手されるよう要望します。	愛川町
46 県道63号（相模原大磯） 県道54号（相模原愛川） 県道511号（太井上依知） （高田橋交差点）交差点改良	高田橋交差点については、大型車両や一般車両等の交通量が多く、朝・夕の混雑が激しい状況になっています。平成17年度から事業に着手されていますが、渋滞解消を図るため、高田橋際交差点改良の早期完成を強く要望します。	愛川町
47 県道54号（相模原愛川） （宮ノ下・横須賀水道路との交差点）交差点改良	本路線の横須賀水道路との交差点は、その形状から、交通の混雑度が高くなっており、交通事故が発生している状況となっていることから、右折車線やバス停車帯の設置を含む交差点改良事業を要望します。	愛川町
48 県道54号（相模原愛川） （愛川トンネル先～愛川橋） 道路改良	本路線の要望箇所については、現道幅員も狭く、大型車両とのすれ違いに支障を及ぼしている状況となっていることから、歩道整備を含めた道路改良を要望します。	愛川町
49 県道65号（厚木愛川津久井） （桜台五差路～厚木市境）歩道整備	当該箇所における歩道については、バリアフリー化を踏まえた改修工事がすでに完了していますが、当該歩道の終点より厚木市境までは歩道がない状況であることから、歩行者の安全確保のため、歩道整備の早期完成を要望します。	愛川町
50 県道63号（相模原大磯） （小沢～県道511号）歩道整備	当該箇所については、急勾配・急カーブであり、さらに歩道がないことから、歩行者の安全確保及び車両の円滑な交通を図るため、歩道整備を含めた道路改良を要望します。	愛川町
51 県道63号（相模原大磯） （小沢～県道54号）ルート 変更区間早期着工	昭和61年2月25日付けの都市計画街路の変更に伴う小沢坂のルート変更路線について、拡幅改良事業に合わせた、早期着工・早期完成を強く要望します。	愛川町
52 県道54号（相模原愛川） （日向橋～国道412号）道路 改良	現道は、幅員も狭く、大型車両のすれ違いに支障を及ぼしており、歩道もなく危険な状況であることから、歩道整備を含めた道路改良を要望します。	愛川町
53 県道511号（太井上依知） （高田橋～厚木市境）歩道 整備	本路線は、大型車両の混入率が高く、交通量の多い路線ですが、大部分の歩道が未整備であることから、歩道整備を早急に実施するよう要望します。	愛川町

整備箇所等	要望要旨	町村名
54 国道412号（平山坂下交差点～厚木市境）道路改良	現道は、勾配が急であり、交通量も多く、事故も多発しています。また、歩道の未整備箇所もあることから、歩行者の安全確保のため、歩道整備を含めた道路改良を要望します。	愛川町
55 県道511号（太井上依知）（県道511号～国道129号『新昭和橋』）国道129号直接乗り入れ	本路線については、将来『さがみ縦貫道』へのアクセス道路としての位置付けを考慮し、国道129号『新昭和橋』への直接乗り入れができる改良をされるよう要望します。	愛川町
56 県道61号（厚木清川線）（御門橋）の拡幅改良整備	御門橋は幅員が狭く、また、当該箇所付近は、一部に歩道がなく非常に危険な状況であることから、円滑な車両の通行と歩行者の安全確保を図るため、早期の拡幅改良整備を要望します。（宮ヶ瀬ダム建設関連工事未整備箇所）	清川村
57 県道64号（伊勢原津久井線）（堺橋～金翅入口付近、湯出川橋～坂本橋）の拡幅改良整備	この区間は、幅員が狭くて危険な箇所が多く、一部の区間は古在家バイパス整備事業が進められていますが、開通までには相当の期間を要するため、現道の可能な限りの交通安全対策と早期の拡幅改良整備を要望します。（宮ヶ瀬ダム建設関連工事未整備箇所）	清川村
58 県道70号（秦野清川線）（境橋～長者橋）の拡幅改良整備	本路線は、宮ヶ瀬ダムと丹沢を結ぶ観光道路等として利用されていますが、幅員が狭くて危険な箇所が多く、一般車両や緊急車両の通行、歩行者の安全確保に支障をきたしているため、早期の拡幅改良整備を要望します。（宮ヶ瀬ダム建設関連工事未整備箇所）	清川村

河 川 整 備 箇 所 表

整 備 箇 所 等	要 望 要 旨	町 村 名
1 一級河川相模川の築堤整備及び総合整備事業の促進	現在進められているさがみ縦貫道路の工事区間においては、当該事業に先行して築堤整備がされることになっていますが、まだ未整備箇所があるので早期実現を図るとともに、近年枯れ草火災が多数発生していますので、河川パトロールの強化と堤外地に存在する民有地の買収に努めるよう国への働きかけを要望します。また、相模グリーンライフ整備に当たっては、寒川町と十分協議するとともに、相模川水系河川環境基本計画等円滑な推進を図るよう要望します。	寒 川 町
2 一級河川小出川の改修整備促進	茅ヶ崎市側の下流より計画的に改修整備が進められていますが、町域はほとんど未改修です。平成16年10月の台風大雨時には、小出川からの越流水等により周辺で床上浸水、床下浸水が発生し一部暫定改修整備がされましたが、町全域早期改修整備を要望します。	寒 川 町
3 一級河川目久尻川の草刈整備促進	目久尻川は、ふるさとの川整備事業により親水性のある川として改修整備されましたが、草が繁茂し散策や川辺への接近ができないところも見受けられるため、適宜草刈り及び河川管理用通路の維持管理を要望します。	寒 川 町
4 境川及び谷戸川における砂防指定区域の護岸整備	境川においては、上流部に通常砂防事業として、えん堤(砂防ダム)設置工事が行われていますが、工事施工箇所の下流部より、不動川の合流地点までは未改修のため危険と思われる箇所があります。また、谷戸川においても、川幅が狭く曲折している為に、大雨のときには常に危険と思われる箇所があります。両河川について、引き続き河川の改修事業(護岸整備等)を推進するよう要望します。	大 磯 町
5 葛川(砂防指定地)	葛川においては、町域内の護岸整備等は完了していますが、清太ヶ谷橋より下流側においては堆積した土砂が多く見受けられ、災害の未然防止のためにも計画的な河床整理を要望します。	中 井 町
6 岩倉川(砂防指定地)	岩倉川においては、一部区間では護岸整備等の完了後に河床整理が行われましたが、ここ十数年行われていませんので、全区間における計画的な河床整理を要望します。	中 井 町
7 中村川(二級河川)	中村川においては、中谷橋から上流には堆積した土砂が多く見受けられ、豪雨での河川増水による被害も懸念されますので、堤防法面の毎年時における草刈を含め、計画的な河床整理を要望します。	中 井 町

整備箇所等	要望要旨	町村名
8 藤沢川（二級河川）	未改修区間の早急な事業着手を要望するとともに、あわせて、この区間の堆積した土砂の計画的な河床整理を要望します。	中井町
9 椿河原川（砂防指定地）	椿河原川においては、上流の未整備区間からの土砂等の流出により、同河川を跨ぐ広域農道（やまゆりライン）から中村川との合流点の間に土砂堆積が見受けられますので、未改修区間の整備と合わせ河床整理を要望します。	中井町
10 酒匂川（金手・西大井地内）	平成18年度に足柄大橋上流の河床整理に伴う河川環境整備が実施されました。ついては、足柄大橋から報徳橋までの区間についても、中洲の高木の伐採等、河床整理を実施されるよう要望します。	大井町
11 川音川左岸の護岸再整備の推進	神山滝から籠場橋にかけて護岸の再整備を推進するよう要望します。	松田町
12 虫沢川護岸整備の推進	焼却場跡地付近の護岸整備を推進するよう要望します。	松田町
13 中津川護岸整備の推進	大寺橋上流の護岸等を継続整備するよう要望します。また虫沢川合流部下流の後沢部分の河床確保整備を推進するよう要望します。	松田町
14 村山沢護岸整備の推進	福昌院地先から下流の護岸整備を推進するよう要望します。	松田町
15 名納沢護岸整備の推進	虫沢川合流点から上流の堰提工事を引き続き要望します。	松田町
16 井戸沢護岸整備の推進	大寺地内、町道寄8号線から中津川にかけての護岸整備を要望します。	松田町
17 酒匂川河床整備の推進	川音川合流部から山北町境までの区間については、流入土砂が堆積し樹木が繁茂している状況であるため河床の整備を要望します。	松田町
18 寄稻郷地内及び土佐原地内の護岸整備の推進	松田町内寄稻郷地内上川・シシ沢及び同土佐原地内歌の沢については、崩落が進んでおり、護岸整備を要望します。	松田町
19 杉の沢支流の山地保全の推進	杉の沢支流（中沢・ローハン沢・モノクヱリ沢・山犬沢）は山地の荒廃が進み周辺の森林への影響が危惧されるとともに、当地区は、水源涵養の面からも重要であることから、山地保全を要望します。	松田町
20 松田惣領地内の俣渡沢の法面整備の推進	俣渡沢周辺は法面の崩落が進み、沢の流水機能に支障をきたしており、隣接するハイキングコースの通行にも影響がでていることから、法面の整備を要望します。	松田町
21 鮎沢川（県境から国道246号諸淵トンネル下までの間）	河床低下により護岸に大きな崩落を招いていることから、早急な河床整備を要望します。	山北町

整備箇所等	要望要旨	町村名
22 畑沢（一休食堂から上流）	大雨による土砂の流出や護岸の崩落を招いているので、早急な河川整備を要望します。	山北町
23 2級河川要定川	上流域の宅地化により、降雨時には短時間に相当量の雨水が流入するため、河積が小さくかつ既存の住宅地内を蛇行している池嶋橋上流の未改修区間について、地域住民の強い要望もことから、現在実施中の整備事業の延伸を要望します。	開成町
24 2級河川仙了川	上流域の宅地化により、降雨時には短時間に相当量の雨水が流入するため、未整備区間から分水する町管理水路では、近年、床下浸水等の被害が発生していることから、整備事業の早期実施を要望します。	開成町
25 早川の護岸整備	小田原箱根道路事業に併せて早川親水護岸整備を下流域から順次進められていますが、箱根町で計画している山崎地区と前田地区を結ぶ前田橋の架け替えについて、着工時期の目途が立たない状況であるため、当該地付近の先行整備を要望します。	箱根町
26 早川（あじさい橋～須雲川合流点）流路工の整備	あじさい橋から上流の流路確保のため、定期的な河床の浚渫を要望します。	箱根町
27 早川（三枚橋～あじさい橋）河床の整理	大雨時における早川緑地の保全のため、引き続き河床の浚渫を要望します。	箱根町
28 早川（仙石原浄水センター～入仙橋）護岸の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、護岸の整備と河床の浚渫を要望します。	箱根町
29 須雲川（須雲川バンガロー側付近）護岸の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、護岸の整備を要望します。	箱根町
30 金時沢（金時橋～中丸橋及び支流）護岸の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、護岸の整備と河床の浚渫を要望します。	箱根町
31 大涌沢地すべり対策施設の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、引き続き地すべり対策施設の整備を要望します。	箱根町
32 早雲山地すべり対策施設の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、引き続き地すべり対策施設の整備を要望します。	箱根町
33 上の沢（足柄幹線林道より上流）流路工の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、護岸の整備を要望します。	箱根町
34 瀬戸沢（足柄幹線林道より上流）えん堤工の整備	災害防止と自然環境等の保全のため、えん堤工の整備を要望します。	箱根町
35 椿沢砂防事業の推進	災害防止と自然環境等の保全のため、砂防事業の推進を要望します。	箱根町
36 早川（宮城野地内）防災砂防事業	災害防止と自然環境等の保全のため、引き続き事業の継続を要望します。	箱根町
37 洗頭川護岸整備事業（湯河原町川堀地区）	洗頭川の護岸改修については、毎年継続して実施されているところですが、周辺の住宅化が著しい地区であり、早急な整備促進が必要であることから、引き続き事業の実施を要望します。	湯河原町

整備箇所等	要望要旨	町村名
38 新崎川親水護岸整備事業 (湯河原町鍛冶屋地区)	新崎川上流の土砂災害防止工事の実施のほか、護岸の崩壊を未然に防ぐため、護岸不良箇所の整備計画の推進を要望します。また、湯河原町は、平成 10 年に「ほたるの里」宣言を行い、町民とほたるの共存を目指していますので、河川の環境保持と、観光地としての親水性護岸や川沿いの遊歩道の設置を要望します。	湯河原町
39 千歳川親水護岸整備事業 (湯河原町土肥地区)	千歳川護岸工事については、順次整備されているところですが、引き続き護岸整備事業及び河床整備事業の実施と併せ、観光地にふさわしい親水性護岸の整備を要望します。	湯河原町
40 金翅沢（御門橋付近）の 護岸整備	護岸未整備地区であり、住宅地等への水害が懸念されますので、早期整備を要望します。また、整備に当たっては、景観や生態系等に配慮した護岸整備を要望します。	清川村
41 別所川（中流付近）の護 岸整備	護岸未整備地区であり、住宅地等への水害が懸念されますので、早期整備を要望します。また、整備に当たっては、景観や生態系等に配慮した護岸整備を要望します。	清川村
42 谷太郎川（寺家の谷橋～ 小鮎川合流点）の護岸整備	護岸未整備地区であり、住宅地等への水害が懸念されますので、早期整備を要望します。また、整備に当たっては、景観や生態系等に配慮した護岸整備を要望します。	清川村

林 道 整 備 箇 所 表

整 備 箇 所 等	要 望 要 旨	町 村 名
1 明神林道通行規制の緩和	本林道は、県西地域の観光・経済流通という面から見ますと、南足柄市と箱根町を結ぶ重要なルートとなり得ると思われます。当初の整備目的の中には足柄万葉の郷と仙石原温泉郷を結ぶという目的もありますので、規制の緩和を引き続き要望します。	箱 根 町
2 白銀林道整備事業	白銀林道については、順次整備が進められているところですが、森林の保全・維持管理上必要不可欠な林道であることから、引き続き、県道75号側（しとどの窟入口）からの舗装及び落石防止工事の実施を要望します。	湯 河 原 町